

上富良野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

- 急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけることなどを目的とした「まち・ひと・しごと創生法」において、地方公共団体に対しても、それぞれの地域の実情に応じた施策の実施が求められています。
- 上富良野町においても、昭和35年（1960年）をピークに人口減少が続いていることから、平成27～31年度の目標と施策の方向性を示す「第2期上富良野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を令和2年（2020年）2月に策定しました。

人口ビジョン

将来展望

- ・ 長期的目標 : 令和27（2045）年 7,300人程度を確保
合計特殊出生率を段階的に設定、達成すると仮定。R12→1.80 R22→2.07
純移動の減少率について、社人研推計準拠の約5割程度まで圧縮すると仮定。

総合戦略

計画年度 2020～2024年度の5か年

将来像

多くの人をひきつけられるまち、行き交うまち、将来にわたって町民が安心

基本目標 (成果目標 2024年)

基本的方向

- | | |
|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) これからの上富良野を見据えたしごとづくり、ひとづくり
・ 20～39歳の社会減少数 (自衛隊営内居住者除く) 10人 | ① 新たなしごと、働く場を創出する
② 地元産品を生かし、新たな価値を創造する
③ 地域の課題に対応する新たな社会システムを構築する
④ これからの上富良野を担う人材、組織の育成
⑤ 自衛隊との共生 |
| (2) 人をひきつけ、好きになってもらうまちづくり
・ 交流人口（観光入込客数） 700千人 | ① 地域特性を前面に打ち出すブランディング
② 「関係人口」の創出、拡大(まちの魅力にふれる機会の創出)
③ 町外からの移住の促進 |
| (3) すべての世代が希望を持ち、安心して暮らし、活躍できるまちづくり
・ 年間出生数 80人 | ① 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり
② 子どもが健やかに育つ環境づくり
③ 支え合うコミュニティの維持、再生、創造
④ 地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり
⑤ 「健康づくり推進のまち」宣言の理念の実現 |
| (4) ずっと住んでいなくなる、時代に対応したまちづくり
・ 人口の社会減少数 63人 | ① 温室効果ガス排出削減とエネルギー施策の推進
② 地域間連携・交流によるまちづくり
③ 地域内公共交通の維持、充実
④ 快適で居心地の良い空間づくり
⑤ 健康で心豊かに暮らす学習環境づくり
⑥ 安全に安心して住み続けられるまちづくり |